

Kumamoto Gakuen University Library Bulletin

熊本学園大学
図書館報

大楠

Oaks

ISSN 0918-2128



図書館キャラクター
「ひのと」と「しおりちゃん」

第62号

2023 [令和5年]

Contents

- 1 館長エッセイ
- 2 特集「LCと学生コンシェルジュの10年」
- 7 貴重書探訪
- 8 NEWS
- 9 Library Data (利用・貸出統計)



ラーニング・commons

特集 「LCと学生コンシェルジュの10年」



図書館物語

“愛は決して後悔しないこと。(Love means never having to say you're sorry)”というセリフで有名な「ある愛の詩(Love Story)」という映画があります。1970年にアメリカで公開された作品で、学生の皆さんにとってはジェネレーションギャップを感じるかもしれません。タイトル通りにラブストーリーですが、涙が出る悲劇的なエンディングを迎える映画です。主人公の二人は大学の図書館で出会い、恋に落ちます。映画ではこの図書館が美しく描かれています。映画に登場する図書館は、ハーバード大学の「ワイドナー記念図書館」で、正式な名前はHarry Elkins Widener Memorial Libraryです。

実はこのワイドナー記念図書館にはもう一つのストーリーがあります。ハリー・エルキンズ・ワイドナーは、ハーバード大学の卒業生で、1912年タイタニック号の沈没事故で父親とともに亡くなります。実業家であった父親と蔵書家であったハリーの蔵書と建設費が大学に寄贈され、1915年に図書館が開館しました。図書館の入り口には、ハリーの名前とこの経緯が書かれたプレートがあります。

本学と協定校であったアメリカのモンタナ大学(University of Montana)の図書館の名前は、「モーリンとマンスフィールド図書館(Maureen and Mike Mansfield Library)」です。マンスフィールドはモンタナ大学のなかでも著名な卒業生の一人です。教師であったモーリンは、炭鉱で労働者として働いていた若きマンスフィールドに勉強を教え、モンタナ大学に入学させます。マンスフィールドはモンタナ大学を卒業し、大学院に進学しモンタナ大学の教授となります。その後政治家になり、1977年から1988年まで駐日アメリカ大使を務めました。マンスフィールドは私財を大学に寄付し図書館が建設されます。マンスフィールドは、モーリン先生が自分の人生を変えた人であるとしながら、名前は必ずMaureen and Mike Mansfieldと呼ぶように要請し、そのまま図書館の名前になります。図書館の入り口の広場には、二人の銅像があります。

今回2つの大学図書館のビハインドストーリーを紹介しました。図書館は大学の中心であり、シンボルです。またそれぞれが物語をもっていると思います。残念ながら今のところ熊本学園大学の図書館には「ストーリー」がありません。いや、ないのではなく発掘されていないと言ったほうが正確かもしれません。

皆さんに愛される自慢の熊本学園大学の図書館には、どのような物語が隠れているのか探してみましょう。また、自分なりの物語を作ってみましょう。きっと上で紹介したストーリーよりも美しく、楽しく、感動的な物語があると思います。



金 栄緑

Kim Youngrok

2022年8月図書館長就任
経済学部教授
熊本学園大学副学長
[専門分野] 国際経済学
[論文] 日本・中国・韓国の
対アメリカRCA指数の変化
- 主要3品目、1980～2016 - など



大楠(Oaks)とは

本学の大江キャンパスの建物は、奈良飛鳥時代の古墳群の上に築かれていますが、この地を考古学では「大江青葉遺跡」と呼んでいます。

そのキャンパスには、創立当時から風雪に耐え我々を見守ってきた高さ20m、幹周り4～5mに達する県木でもある緑豊かな楠の木が何本もあります。これら歴史ある地と天高く聳えた大楠のように、当館電算システムと学園の発展を願ってOaks(Oe Aoba Kumamoto Gakuen University Library Information System)と命名しました。

特集

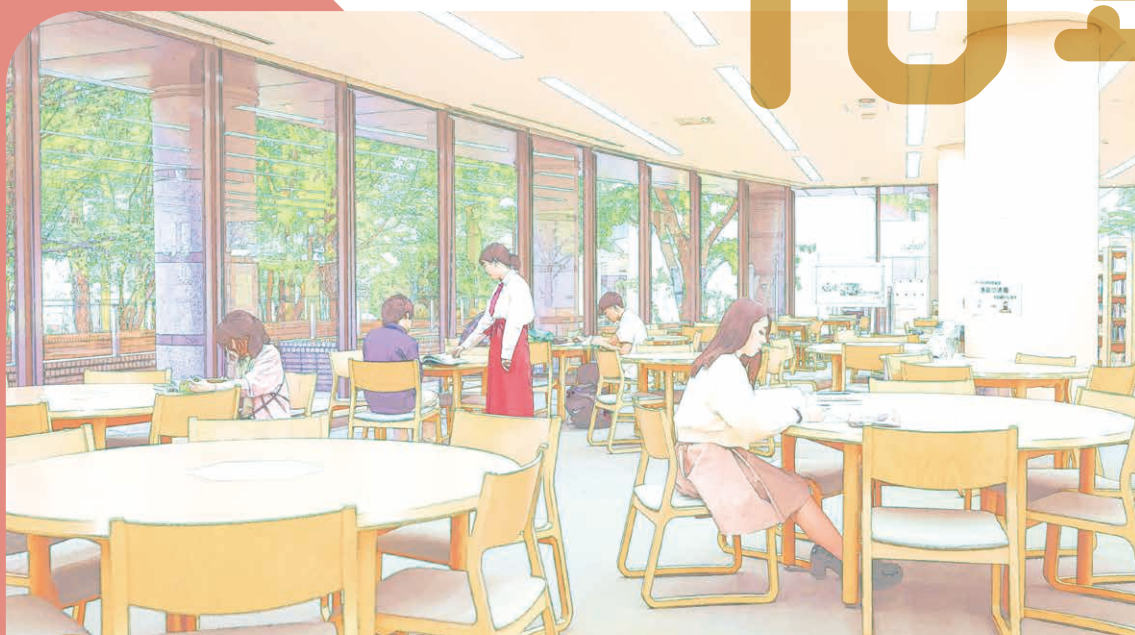
ラーニング・コモンズ
LCと

学生の自主的な学習を
支援するためのサービス・資料・設備を
総合的に提供する空間、ラーニング・コモンズ。
2013年9月20日、本学図書館に
ラーニング・コモンズが正式にオープンしました。

学生コンシェルジュの

★★★★★
★★★★★

10年



私たち学生コンシェルジュは、
「ラーニング・コモンズ(LC)」の一角に
あるサポートデスクで学生ならではの目線で
利用者の皆さんのさまざまな困りごとに応えています。
今回、LCとコンシェルジュの10年を
紹介していきます。

トオヤ

カレン

レオ

ルカ

ラーニング・コモンズ、始動。



ラーニング・コモンズのオープニングセレモニー(2013年9月20日)



ラーニング・コモンズ オープンの告知(2013年)

熊本学園大学付属図書館のラーニング・コモンズ(LC)は2013年9月20日、正式にオープンしました(プレオープンは6月3日)。
アクティブ・ラーニングという時代の要請があり、先進大学を視察しながら設置場所や機能について議論を重ね、図書館の西側(7号館側)を改装。グループでの学習をしやすいように、机や椅子の移動を可能にし、電子ホワイトボードなどを設置しました。

「学生コンシェルジュ」誕生

「ラーニング・コモンズの成否は運用にかかると」いうことで、利用者に対するさまざまなサポートを行うためにサポートデスクを設置。図書館学生アルバイトで経験豊富な学生を中心に「学生コンシェルジュ」としました。「コンシェルジュ」(concierge)とはフランス語で「鍵の番人」という意味。もともとは集合住宅の管理をする人のことでしたが、いつしかホテルにおいて宿泊客のあらゆる要望や案内に対応するスタッフを「コンシェルジュ」と呼ぶようになりました。学生コンシェルジュはサポートデスク業務だけでなく、館内の展示や読書会などのイベントの企画も行なっています。



茶道部の協力による七夕茶会(2013年)
※通常の図書館は食事禁止(フタ付きの飲料は可)



図書館勉強会に電子ホワイトボードを使用(2015年)



学生コンシェルジュによる情報発信(2014年)
現在は主にSNSで情報発信を行っている

2013年度 学生コンシェルジュ MESSAGE



くどう あすか
工藤 飛鳥さん

商学部経営学科・2014年3月卒
現在:クリタ九州(株)勤務

ラーニング・コモンズ始動に合わせ、大楠で特集。写真撮影や打ち合わせなどは貴重な体験でした。サポートデスクでは学生だからこそできる、気兼ねなく相談できる雰囲気作りと利用者の気持ちに寄り添うことを心掛けていました。1階ラーニング・コモンズに学生コンシェルジュが

配置されたことで、結果的に図書館の良さを分かってもらえることもできたと思います。活動としては、ゼミや就活のための自主セミナー開催の場を提供・図書選定・相談受付などを行いました。

一後輩のみなさんへ

私は学生時代「今しかできないことを全力で」をモットーに過ごしていました。社会人になって感じるのは、「あの頃やりたいことを全力で取り組んできたことは間違っていなかった」ということです。大学生活 4 年間はあっという間に過ぎます。学生時代に得た友達や培った経験はかけがえのないものなので、日々を大切に、楽しんでください!



サポートデスクで業務中の工藤さん(2013年)

この頃まだ
制服はなかったんだね。

※現在の「制服」は2016年から



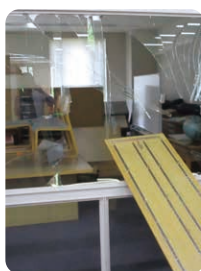
熊本地震からの復興



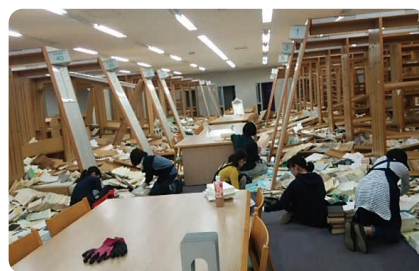
熊本地震直後のキャンパス(左・図書館前、右・総合体育館)

2016年4月14日・16日の熊本地震。

本学のキャンパスも大きな被害を受けました。図書館の被害は大きく館内のあちこちで図書が崩落するなど、復旧までにはかなりの時間を要しました。図書館職員だけでなく、図書館学生アルバイトを含む学生、他部署の職員など総動員で復旧作業を行いました。



地震直後の図書館内の被害状況



館内復旧作業の様子



「熊本地震」についての新聞の展示(2016年)



新入生ガイダンス時に「トレッキング」をテーマとしてテントを設置(2017年)

2013-14年度 学生コンシェルジュ MESSAGE



たなか あきこ
田中 晃子さん

商学部商学科・2015年3月卒／
大学院商学研究科商学専攻博士後期課程・2020年3月修了
現在:旭川市立大学経済学部准教授

「学生コンシェルジュを始めるよ!」と声を掛けていただいたことが(学生コンシェルジュになった)きっかけです。当時の図書館は、ラーニング・コモンズの開設など新たな取り組みにチャレンジしていました。そのような大きな変化があるなか、学生アルバイトとして

図書館業務に携わっていく過程で、職員の皆さんのような専門的な仕事がしたいと感じるようになりました。チャンスを与えていただいて大変嬉しかったです。熊本地震の起きた年も学生アルバイトとして働いていました。地震直後の後片付けもものすごく大変でした(当時のスタッフの疲弊を思うと胸が痛いですが、私が修了する2020年3月まで影響が残っていたことの方が印象深いです。処分予定の本が地下書庫に積み上がっていて、通常業務をこなしながら機能を完全に回復させるのはとんでもないことだなと感じていました。「最後まで日常に戻れなかった」というのが当時の記憶です。

一後輩のみなさんへ

図書館スタッフはとても素敵な人たちです。ぜひコミュニケーションをとってみてください。



図書館報(第53号)の表紙を飾りました ※中央が田中さん

熊本地震市のりこえてきたのね...



コロナ禍での活動

2020年2月頃より、世界的な新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染が拡大し、大学生生活にも大きな影を落としました。

図書館においても、大学の休講に伴い、長期の臨時休館を余儀なくされ利用に大きな制限がかかることになりました。



パーティションを設置したり、座席数を減らすなど、利用者同士が「密」にならないための対策や、手指消毒・検温・マスク着用など、感染拡大予防に努めました。

学生コンシェルジュの活動にも大きな制限が加わりましたが、学生同志でいろいろ知恵を絞りながらできる範囲で企画・運営しました。



2020年度 学生コンシェルジュ MESSAGE



なかがわ じん
中川 仁さん

経済学部リーガルエコノミクス学科・2021年3月卒
現在：(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構勤務

コロナ禍になると当初実施したいと思っていた企画等は実施できませんでした。制限があったため少し窮屈でしたが、限られた中でできることもあり、楽しく活動することができました。そのなかでも、心掛けていたことは「楽しむ」ことです。コロナ禍というイレギュラーに対して何も行動しないことは

簡単なことでしたが、このような時だからこそ経験できることもあったと思っています。楽しんで活動していました。

一後輩のみなさんへ

大学は、自身の時間を「自由」に活用できる良い期間です。何事にも全力で取り組み楽しんでください。

よねみつ しょうた
米満 翔太さん

経済学部リーガルエコノミクス学科・2021年3月卒
現在：富田薬品(株)勤務

活動していたなかで意識していた事は「学生目線」です。コロナ禍でも図書館に来ている人たちを楽しませたいという目標を持って、イベントを行っていましたが参加者が一人もない日もありました(笑)。そんな時は他の学生コンシェルジュや図書館職員の方に手伝って頂き、PRの仕方を考え、声掛けするなど工夫して参加者が増えた事はとても嬉しい経験でした。図書館でアルバイトをしていくなかで自ら考えて実践した経験は、社会人となった今でも活きていると思います。

一後輩のみなさんへ

学生生活大変な事もあると思いますが、大学は人生の夏休みと言われています。好きな事をたくさん経験して下さい！

年 月 日	COVID-19にまつわる出来事
2020 年 1 月 15 日	日本初の感染者を確認
2 月 21 日	熊本県初の感染者を確認
2 月 29 日	【図書館】学外者入館制限(～2023年5月)
3 月 2 日	【本学】全サークル活動停止
3 月 4 日	【本学】学位記授与式中止決定 【図書館】3月15日まで休館決定
3 月 13 日	【本学】入学式中止決定 【図書館】3月20日まで休館延長
3 月 23 日	【図書館】学生・教職員等入館再開(制限あり)
4 月 3 日	【本学】授業開始を5月7日からに変更
4 月 7 日	【政府】「緊急事態宣言」7都道府県に発出
4 月 16 日	【政府】「緊急事態宣言」が全国へ拡大
4 月 21 日	【本学】一般立ち入りを禁止 【図書館】5月6日まで臨時休館
5 月 4 日	【政府】「緊急事態宣言」を延長
5 月 7 日	【本学】授業開始(遠隔授業のみ) 【図書館】一部利用開放再開
5 月 14 日	【政府】「緊急事態宣言」を39県(熊本県含む)解除
5 月 21 日	【図書館】利用緩和(自習での利用可)
6 月 4 日	【本学】一部対面授業開始 【図書館】利用緩和
8 月 4 日	【本学】感染者判明により学内立入禁止
8 月 8 日	【本学】立入禁止解除
12 月 15 日	【本学】対面授業休講・遠隔授業のみ
2021 年 1 月 8 日	【政府】4都県で「緊急事態宣言」発出
1 月 13 日	【政府】「緊急事態宣言」11都府県拡大
1 月 19 日	【本学】対面授業再開
2022 年 1 月 16 日	【本学】課外活動原則中止
2023 年 5 月 8 日	【政府】新型コロナウイルス感染症の 感染症法上「5類感染症」へ 【図書館】一般利用者の利用制限を解除



コロナ禍以前は学外のシンポジウム等にも参加した中川さん



コロナ禍のためマスクを着用。そんななかでもコンシェルジュとして積極的に活動した米満さん

やりたいことが
やれなくても、いろいろと
工夫してきたんだね。



LCとコンシェルジュ 10周年。そして…



つじ ゆうだい
辻 勇大さん
(経済・4年)

広報担当として、少しでも図書館の魅力・良さを全面的に出せるように頑張っていきたいと思います。



なかがわ ともひろ
中川 智弘さん
(商・4年)

良い意味で図書館らしくないイベントをいつも考えています。皆さんの話題のひとつとなる企画を提供できるよう頑張っていきたいと思います！



たけだ あかり
竹田 朱里さん
(東アジア・3年)

聴覚障がいがあるため、筆談や音声認識アプリを用いて対応します。手話ができるので、興味がある方は話しかけてください！



たなか ひろや
田中 大也さん
(リーガルエコノミクス・3年)

図書館のことだけでなく、大学生活や就活に役立つことまで幅広く案内できるよう活動してまいります。よろしくお願いします！



よねくら せいら
米丸 聖羅さん
(商・3年)

学生コンシェルジュとして、みなさんの学びやくつろぎをサポートできるよう励んでまいります。



よねみつ たいすけ
米満 泰祐さん
(商・3年)

図書館を利用する皆さんに本の素晴らしさを伝えられるように精一杯頑張ります。図書館で見かけた際は気軽に声をかけください!!

みなさんに楽しんでいただけるように、いろいろと考えているのね。



2023年度の学生コンシェルジュは、ラーニング・commons開設10周年を記念したイベント「LC10周年 Week」を開催しました。(P.8「NEWS」参照)



LC10周年Weekに向けての企画会議



LC・コンシェルジュの「思い出話」

ラーニング・commons開設時(2013年)の図書情報課長で、現在、本学非常勤講師の津村秀夫先生に、当時を振り返ってもらいました。

2010年代の大学図書館はラーニング・commons※の設置をどうするかが喫緊の課題であった。いまあるグループ学習室こそがラーニング・commonsの先駆であり、本学図書館新館建築(1995年4月)に携わった者としては、図書館の改装に積極的になれない拘りもあった。それでもアクティブ・ラーニングという時代の要請があり、「図書館をアピールする絶好のチャンスだ」と私を引っ張ってくれた、学内の事情を熟知し新しい感覚をもった当時の係長の存在は大きかった。

設置場所や機能について議論を重ね、業者さんに設計見積りの依頼なども試みたが、決定的だったのは「我が大学は、我が図書館はこうする」といったポリシーに満ち溢れていた」他県の先進大学の

視察だった。

本学の結論として、図書館の玄関西側をラーニング・commons空間とする。ガラス仕切り等は設けずテーブル・椅子も既存のものを使う(残念ながら可動式ではない。サポートデスクは可動で新調)。新規に電子ホワイトボードの導入。飲料の自動販売機も設置。空間の可視化のため一部の壁の撤去。ここまで辿りつけたのは理事会の理解があったのは言うまでもなく、実作業では学生サークルに各フロアからテーブル・椅子の運搬をしてもらい手作りであったことは記憶しておきたい。

また、ラーニング・commonsの成否は運用にかかる。「ライティングサポート」は無理として、他は可能性がある。そこで学生スタッフならぬ「学生コンシェルジュ」の登場となった。

※ 2012年度から文科省の「学術情報基盤実態調査」に「アクティブ・ラーニング・スペースについて」が新設され、次のような調査項目が加えられた。

- 施設・サービスの内容→グループ学習スペース、プレゼンテーションスペース
- 学習・研究サポート→図書館利用・文献検索サポート、分野別学習相談、ITサポート、ライティングサポート
- 授業関連図書の利用 ○端末の貸出 ○可動式什器 ○運営体制→職員、教員、学生スタッフ

松田道雄文庫

貝原益軒『大和俗訓』



外国語学部准教授 村上 義明

松田道雄文庫

松田道雄氏は、明治四十一年に茨城県に生まれ、京都帝国大学医学部を卒業し、戦後の昭和二十二年に京都市内に開業した小児科医です。『育児の百科』をはじめとした医師としての著述のほか、多岐にわたる膨大な著作・翻訳をなし、評論家としても知られています。

松田氏の没年の翌年（平成十一年）に、そのおよそ二万冊の蔵書が本学に受け入れられました。これが現在の「松田道雄文庫」です。その多くは洋装本で、医学はもちろん、歴史・社会科学・文学を主とする広汎な資料を有しています。

このなかに江戸時代から明治期にかけて作製された和装本が三五〇点あまり収められています。ここには医学や教育、それから京都にかんする古典籍などが含まれており、旧蔵者の関心を窺うことができます。

こうした資料の本学における受け入れ作業は、平成十三年に完了しているものの、和装本については、より詳しく書誌情報を取り、整理や分類をする必要があります。そのため本学への着任後、私は図書館に蔵される和装本の目録化に向けた作業を行っています。

貝原益軒『大和俗訓』

今回紹介するのは、筑前福岡藩士の貝原益軒（一六三〇—一七一四）が宝永五年（一七〇八）に著した『大和俗訓』です。本書は半紙本八巻五冊で、その内容は「為学」「心術」「衣服」「言語」「躬行」「応接」の各編からなり、学問、心の用い方、衣服と言葉、言行の心がけ、人との交わり方について非常に平易に説かれています。

その成立後、本書は幾度も刷られたようで、現存数は少なくありません。松田道雄文庫本には刊行年が記されていませんが、版面の状態から、かなり後に印刷された後印本と目されます。ちなみに巻末には大坂の河内屋和助ほか、江戸・京都・名古屋の本屋の名が記されています。

松田氏の仕事には、日本の名著14『貝原益軒』（中央公論社、昭和四十四年）といった益軒の著作の口語訳があります。そのなかで松田氏は『大和俗訓』のうちより、今日でも通用するものとして、相手の人格を尊敬することを説く次の文章に言及しています（以下、松田道雄文庫本の引用に際して適宜濁点や句読点を付しました）。

人に交はる道は、厚きをむねとす。厚しとは、人をせめずして我をせむるを云。如此すれば、我が心、和樂にして、人をうらみず。人も亦我をうらみずして、したがひやすし。

不智不才の人といへども、必ずぐれて得たる所あり。智者は、其得たる所をとりて、得ざる所をゆるす。故に、天下にすたる人なし。

（巻之八「応接」）

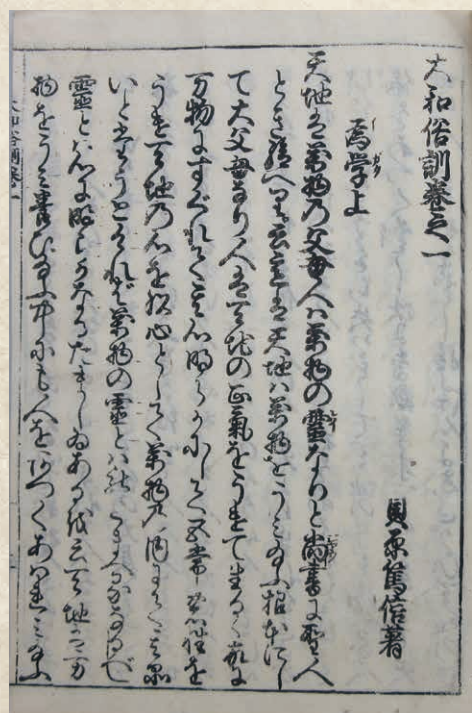
最後に図書館報にちなんだ学問と読書にかんする記述を紹介します。

学問の要二あり。いまだしらざる時は、しらん事を求め、すでにしれらば行ふべし。しらざれば行ひがたし。行なはざればしらざるに同じく、無用の事となりぬ。こゝを以、学問の道は、只知と行との二にあり。

書をよみ学問すれば、聞見の智は日々にすゝむ。され共、知れる事をおこなはざれば徳行は日々におくれてすゝまず、行なはざれば其しれる処、真智にあらず。

（巻之二「為学下」）

学ぶことと、それを実践することの大切さを説いています。



NEWS I 学生懸賞論文2022年度審査結果

2022年度は4篇の応募がありました。
論文としての体裁を重視した一次審査及び内容に踏み込んだ専門委員による二次審査を経て次の通りの結果となりました。

《佳作》4篇 ※学年は2022年度当時

中島 幹太(商学科4年)	中小企業における経済合理的な障害者雇用の事例研究 -わが国における障害者雇用の拡大を目指して-
北村 綾乃(英米学科4年)	Finger Spelling vs. Examples in Colors of Japanese, American, British and French Sign Languages
長迫 凜(英米学科3年)	"The Legend of Sleepy Hollow" 読み継がれる "extravagant" なフォークロア
佐藤 萌(第一部社会福祉学科2年)	難病のある兄弟姉妹をもつ"きょうだい児"の葛藤とその緩和方



NEWS II 図書館新入生ガイダンス・ステップアップガイダンス

図書館新入生ガイダンスは、新入生が大学図書館の機能とサービスを理解し、図書館を活用できるようになるための基礎的な支援として、1985年から実施しています。2022年度より館内での対面形式実施が復活し、図書館の基本的な使い方や、スマートフォンで電子ブック・データベースを利用する方法などを学び、地下書庫見学・館内散策などを行いました。

また、6月以降は、ゼミ単位でより踏み込んだ図書館活用方法を学ぶステップアップガイダンスも随時行っています。

実施期間	2023年4月17日(月)～6月7日(水)		
対 象 者	初年次の演習または必修科目を履修する1年生		
実施回数	22回(88ゼミ)	内 容	・図書館の概要説明
実施方法	対面にて実施		・地下書庫見学
所要時間	90分		・館内散策(演習問題)

NEWS IV 学生選書ツアー開催

学生のニーズに即した蔵書構成を確立し図書館利用促進を図ることを目的に、2017年度より学生が書店に行き図書館に備えてほしい図書を選ぶ企画「学生選書」がスタートしました。

2022年度は新たに書店のWEBページを利用した「WEB選書」を行いましたが、2023年度はWEB選書に加え、実際に書店で図書を選択する「選書ツアー」が復活し、9月13日(水)に学生12名が参加して荒尾市立図書館の見学とともに福岡市内の書店(紀伊國屋書店・丸善・ジュンク堂書店)を訪問して行われました。



NEWS III 卒業生、保護者、一般の図書館利用再開!

2020年2月より新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学外利用(卒業生・保護者・一般利用など)の入館制限を行っていましたが、2023年5月8日より入館制限を解除し学外利用者が再び入館できるようになりました。

マスク着用については任意となりましたが、手指消毒・検温など感染症拡大防止のご協力を引き続きお願いいたします。

NEWS V LC10周年Week開催

ラーニング・コモンズが2023年9月20日に10周年を迎えました。9月19日から22日までを「LC10周年Week」と銘打って、数々の記念イベントをおこないました。

イベントの多くを学生コンシェルジュが企画・立案し、学内の先生方や手話・TRPG同好会・ビジュアルアートなど各サークルの協力を得てさまざまなイベントを行いました。



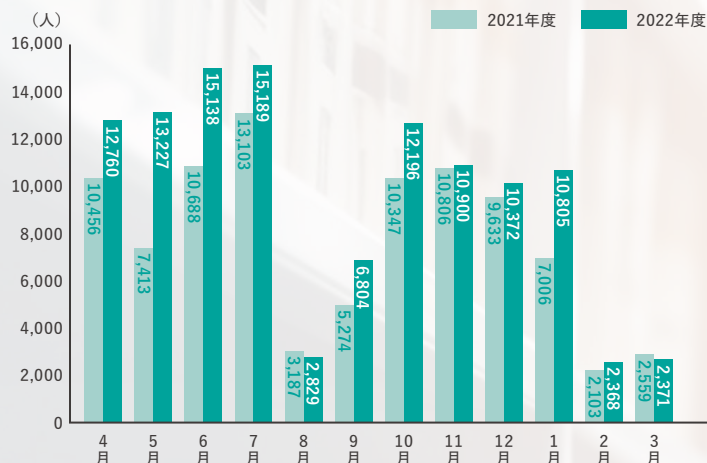


入館者数・貸出冊数

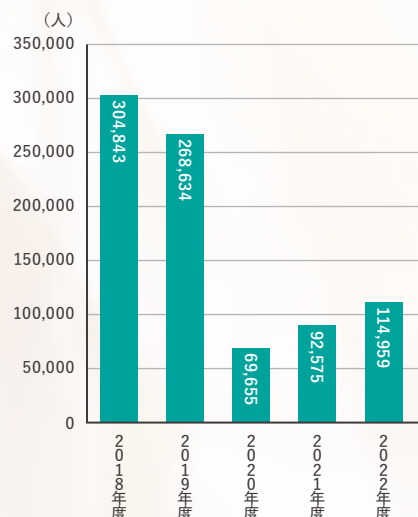
入館者数統計



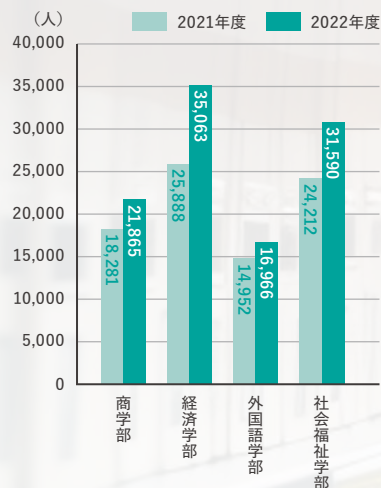
月別入館者数



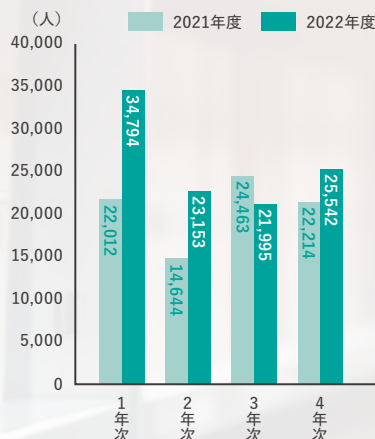
入館者数 (過去5年間比較)



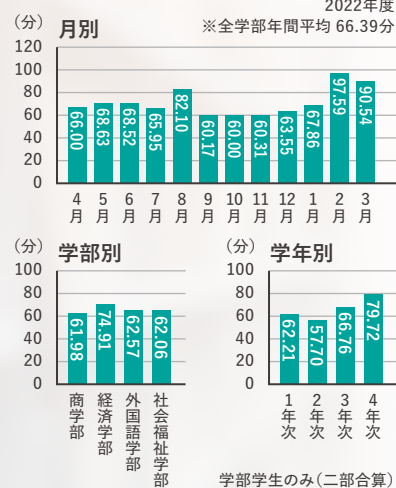
学部別入館者数



学年別入館者数



平均滞在時間



受入統計

2022年度

	洋書	和書	合計冊数
購入	457	5,900	6,357
寄贈	2	120	122
合計	459	6,020	6,479



ILL依頼・受付件数

2022年度

		件数
依頼	複写	386
	貸借	160
受付	複写	652
	貸借	150



電子資料利用統計

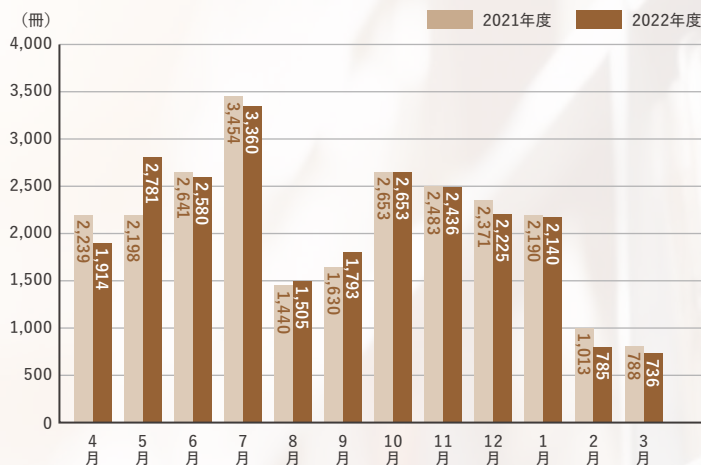
	件数
2020年度	14,235
2021年度	17,380
2022年度	21,656

ログイン回数または検索数

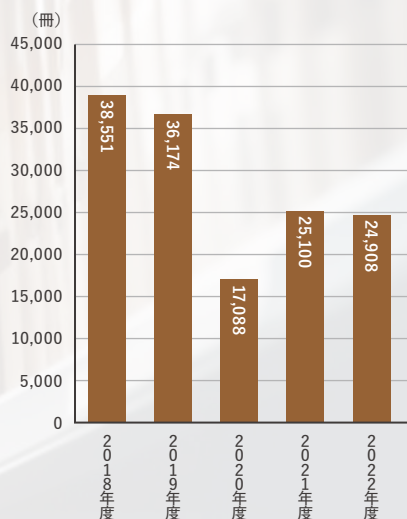


貸出冊数統計

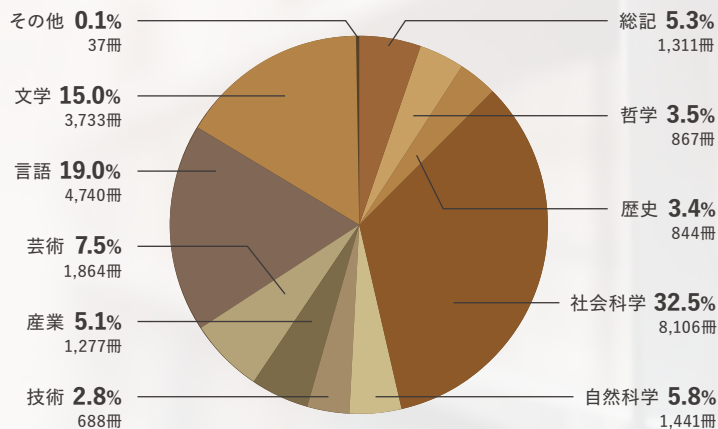
月別貸出冊数



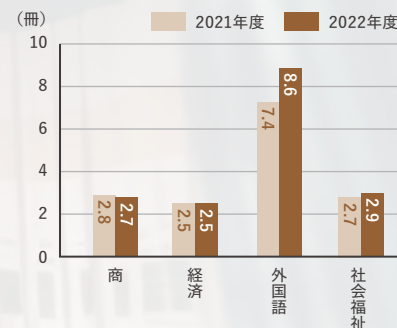
貸出冊数 (過去5年間比較)



分野別貸出冊数 2022年度



学部別一人あたりの貸出冊数



貸出冊数	商	経済	外国語	社会福祉
2021年度	3,953	3,991	5,135	3,680
2022年度	3,851	3,893	5,524	3,976

学部学生のみ(二部合算)

AVコーナー利用状況

(過去5年間比較)

	人数
2018年度	12,465
2019年度	11,852
2020年度	135
2021年度	400
2022年度	639

統計より

Statistics

2022年度は新型コロナウイルスに関する規制が緩和される方向になり、対面授業の割合も増えてきたことで図書館の利用者数も徐々に回復する傾向にあります。

しかし、学外者(卒業生・保護者・一般利用者など)の入館制限や日曜日の臨時休館などは引き続き継続していたため、入館者の伸びは微増にとどまりました。

2023年度は、新型コロナウイルスが5類感染症に移行したことに伴い学外者の入館制限が解除されたため、利用者等も大幅増と見込んでいます。入館時の手指消毒や検温などの感染拡大予防策については引き続きご協力をお願いしたいところです。

2020年度から統計を開始した「電子資料利用統計」も引き続き利用者が増加しています。今後はこれまでに電子資料の充実と使いやすい図書館を目指していきます。



図書館日誌

2022年10月～2023年9月

図書館行事

10月7日 ステップアップガイダンス
 10月10日 休館（スポーツの日）
 10月14日 ステップアップガイダンス
 10月18日 図書館委員会
 10月23日 休館（本学入学試験）
 10月28日 ステップアップガイダンス
 11月3日 休館（文化の日）
 11月4日～5日・7日 全学休講日（17時閉館）
 11月15日 図書館委員会
 11月23日 休館（勤労感謝の日）
 11月27日 休館（本学入学試験）
 12月12日 ステップアップガイダンス
 12月27日～1月5日 休館（年末年始一斉休業）
 1月9日 休館（成人の日）
 1月13日 全学休講日（17時閉館）
 1月14日～15日 休館（大学入学共通テスト）
 1月17日 図書館委員会
 2月7日～9日 休館（本学入学試験）・蔵書点検
 2月11日 休館（建国記念の日）
 2月23日 休館（天皇誕生日）
 3月7日 休館（本学入学試験）
 3月21日 休館（春分の日）
 3月24日 学位記授与式（17時閉館）
 3月31日 休館（年度末処理）
 4月3日 入学式（17時閉館）
 4月17日～6月7日 新入生ガイダンス
 4月29日 休館（昭和の日）
 5月3日 休館（憲法記念日）
 5月4日 休館（みどりの日）
 5月5日 休館（こどもの日）
 5月30日 休館（創立記念日）
 6月13日 ステップアップガイダンス
 6月15日 ステップアップガイダンス
 6月20日 ステップアップガイダンス
 6月22日 ステップアップガイダンス
 6月23日 ステップアップガイダンス
 6月28日 ステップアップガイダンス
 6月30日 大雨のため17時閉館

7月1日 大雨のため13時開館
 7月3日 大雨のため13時30分～17時開館
 7月5日 ステップアップガイダンス
 7月6日 ステップアップガイダンス
 7月7日 ステップアップガイダンス
 7月12日 学生懸賞論文説明会
 7月17日 休館（海の日）
 8月9日 台風のため17時閉館
 8月10日 オープンキャンパス17時閉館
 8月11日 休館（山の日）
 8月13日～20日 休館（夏期一斉休業）
 9月13日 学生選書ツアー
 9月16日 休館（本学入学試験）
 9月19日～22日 LC10周年Week
 9月20日 図書館委員会
 9月28日 ステップアップガイダンス

見学者・団体

10月12日 熊本県立玉名高等学校附属中学校（40名）
 10月19日 私立慶誠高等学校（120名）
 12月6日 熊本県立御船高等学校（20名）
 3月15日 熊本県立甲佐高等学校（54名）
 熊本県立牛深高等学校（61名）
 熊本県立矢部高等学校（37名）
 6月8日 宮崎県立飯野高等学校（40名）
 6月15日 私立くまもと清陵高等学校（24名）
 6月21日 私立熊本中央高等学校（21名）
 7月6日 私立菊池女子高等学校（8名）
 7月19日 熊本県立熊本商業高等学校（63名）
 7月25日 宮崎県立都城西高等学校（16名）
 8月29日 熊本県立熊本西高等学校（150名）
 8月29日 日本開発構想研究所（4名）
 8月31日 熊本県立熊本西高等学校（150名）
 9月21日 私立熊本国府高等学校（120名）
 9月26日 佐賀県立佐賀東高等学校（40名）
 熊本県立天草拓心高等学校（38名）

編集後記

今年5月に新型コロナウイルス（COVID-19）が5類に指定されて、この3年大きく変わっていた生活様式もそれまでのものを取り戻しつつあります。図書館もずっと学外の利用をお断りしていましたが、このたび利用を再開し、再び「地域に開けた図書館」として歩み始めることになりました。

電子技術の進展で図書館のあり方も大きく変わりつつあります。今後いろいろ「機械任せ」になることは増えてくるでしょう。しかし人と人とのふれあいはなくなることはないと考えています。学生コンシェルジュの皆さんも今後も活躍してくれるものと思います。

(M.M)

